



保育北九州

平成30年1月1日

発行 (一社)北九州市保育所連盟
〒805-0019
北九州市八幡東区中央2丁目1-1
(レインボープラザ5F)
電話(093)661-2153番
発行人 酒井光義
編集人 日野真人

2018 **190**



たこたこあがれ。

(5歳児の作品)

〈提供 小倉北支部〉

表紙	1
新年挨拶	2～3
新春特別企画 保育課全員集合！	4～7
第55回北九州市保育研修大会	8～9
研修・一期一会	10
各支部近況	11
雑感	12

新年のご挨拶

一般社団法人北九州市保育所連盟

会長 酒井 光義



あけましておめでとうございます。会員の皆様には、健やかに新年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。昨年は当連盟の主催する各事業におきまして、皆様方の多大なお力をいただきましたこと重ねてお礼申し上げます。本年も変わらぬご協力のほどお願い申し上げます。

新しい時代とした平成生まれの方々も、30年という節目を迎えることとなり、社会の中堅となる時期に入ります。今後の保育界を担う一員として益々の活躍を心より期待するものです。

また、熊本地震、北部豪雨と続いた九州地区の災害において、被害に遭われた各県の皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、少しでも早く復興することをお祈り申し上げます。

さて、昨年は新制度改革の中間年であり、社会福祉法人改革また、保育所保育指針の改定と続く年でした。施設の運営において特に民間施設の主たる設置経営主体である社会福祉法人の有り方がこ

れまでとは変わり、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上等を目的とした内容が求められることとなりました。評議員会の設置をするなど、保育所単体の法人にあつては戸惑いの中での取り組みであつたことでしょう。今後法人運営の有り方を学びつつ、社会より公益性を担保した事業への取り組みを求められることに対して、保育という施設での営みを資源としたなかで、しっかりと応えられるよう務めねばなりません。

新制度も3年目を迎え、折り返しの時期となります。制度の仕組み自体は理解されつつありますが、制度そのものに対しての不合理など、現状を踏まえ今後迎える制度の見直しを見据えた分析や整理・検証を進めていくことが必要です。そして地元行政と協力し、真に子どもの育ちを保障するための制度となるよう提言していくことが大切です。

また、本年は各会員自身への問題として、従事する保育そのものに関連した

取り組みが本格的に始まります。長期保育経験者については、これまでの保育等の積み重ねをもつての専門・分野別リーダーの体制と、それに伴う身分保障となるキャリアアップの仕組みが確立され、そのための研修受講の実施とそれに伴う処遇の改善が、各施設の事業の状態に沿った中で実施されるようになるのです。北九州市においては、既に「社会福祉研修所」や保育士会での研修体系が整い、研修のための代替制度も確立した体制があることで、この度のキャリアアップ研修への対応が即座に可能な状態にあります。それはこれまで他都市に先んじて保育に必要な研修体制を、行政と共に作り上げてきた結果でも有り、先達の作られた次世代への熱い思いの道筋であつたことがわかります。

そこには研修が受けられることは当たり前ではない他都市があることも知るべきでありましょう。さらには、こうして私も保育にかかわるものの処遇の改善に目を向けられたことは大変有り難いことでありますが、そのしくみは、処遇をあげるためのキャリアアップではなく、キャリアが認められたからこそ処遇保障がつくようになったと受け止めつつ、今後の研鑽に務めていただきたいことです。

かさねて本年四月より改定保育指針

にそつた保育の実際が始まります。乳児・三歳未満児保育の記載の充実、幼児教育の積極的な位置づけを大きな柱に、健康及び安全の記載の見直し、子育て支援の章の新設、職員の資質・専門性の向上を改定の方向性として進められたことです。今後の日々の保育のなかでしっかりと展開されていくよう、職員間の連携をとりながら質の向上にむけて進めて行くことが課題となります。

この他にも、保育を取り巻く諸問題は矢継ぎ早に発生しています。待機児童対策、保育士不足はしかり、新たに幼児教育無償化も取りざたされるようになりました。少子化対策をもって社会の目が子どもにシフトしてきたことから保育が注目され、待機児童対策を主としての諸政策は、財源を含め不安定な中であつて精査すべきことは山積みですが、この平成30年は保育者が保育者であることを自覚し、何のために何をすべきかを改めて問いなおし実行する年にしたいものです。

新年を迎え、これまで築き上げてきた認可施設として、保育施設としての誇りを胸に、今年一年、子どもたちの立場に立った視線とともに歩んで参りましょう。本年もどうぞよろしくお願い致します。

門司支部

支部長

西 敏昭

保育士会長

松本由紀子

小倉北支部

支部長

岡村 信久

保育士会長

福田みつよ

小倉南支部

支部長

藤井 英和

保育士会長

山崎 啓子

若松支部

支部長

松尾 副充

保育士会長

長畑 洋子

会長

酒井 光義

副会長

山本 文雄

北野 久美

日野 真人

保育士会参与

中村 尋子

保育士会副会長

黒田 玲子

河崎 幸子

重國 香

顧問

西村 賢了

藤岡佐規子

北野 一恵

本年も宜しく
お願いいたします



八幡東支部

支部長

杉園 弘充

保育士会長

原田 利枝

八幡西支部

支部長

山本 文雄

保育士会長

鈴木富美子

戸畑支部

支部長

内田リツ子

保育士会長

井上 清美

新春特別企画 保育課全員集合!



左から 後列：國吉、中村、森川、東（ひがし）、福田、津田、松尾、高崎、吉住
中列：衛藤、柏木、岸、日浅、向野、原、太田、東（あずま）、上門、山家
前列：栗原、重谷、山田、児森、福島、佐藤、安德、小田

日頃からお世話になり、親しくさせていただいている保育課の方々の素顔を紹介させていただきます。

【部長】

- ① 役職・氏名
 - ② 主たる業務
 - ③ 趣味、特技等
 - ④ ひとこと
(自己アピールや最近ハマっていること、身の回りで起こったユーモラスな出来事等)
 - ⑤ 座右の銘
- ① 子ども家庭局子ども家庭部長
福島 俊典
ふくしま としのり
- ② 子ども家庭部の総括
- ③ 数年前までは、テニス、ウォーキングをやっていましたが、今はこれといった趣味はありません。最近子ども部の部活の応援に行くのが一番の楽しみです。
- ④ 麺類の食べ歩きが好きです。最近は、樹元(辛麺)、豊前裏打ち会(うどん)に、はまっています。
- ⑤ 為せば成る

【課長】

- ① 保育課長
児森 圭介
こもり けいすけ
- ② 保育課の総括
- ③ 小学生時代の名残で、百人一首をほぼ覚えています。是非、上の句5文字で話し掛けてみてください！
- ④ 本年は少しでも多くの園を訪問したいと思っています。突然お邪魔することもあるかと思いますが、どうぞ宜しくお願いいたします。
- ⑤ 継続は力なり
- ① 保育指導担当課長
山田 智子
やまだ ともこ
- ② 第三者評価事業、認可外保育施設
- ③ 和太鼓演奏
- ④ 保育士仲間と、和太鼓もろを結成し、ボランティアで保育所や老人施設、地域のイベントなどで太鼓の演奏をしています。2月にウエルとばた大ホールで発表会をします。見かけた声をかけて下さい。
- ⑤ 置かれた場所で咲きなさい、なんくるないさ
- ① 事業調整担当課長
佐藤 健治
さとう けんじ
- ② 保育所等の整備・適正配置
- ③ ゴルフ(なぜかゴルフの日の朝だけは自力で起きられます)

④ 昨年、クロスバイク(自転車)を購入し、休日に門司港や下関方面へサイクリングに出かけています。無心でペダルを漕いでいると、ストレス解消にもなります。いつか瀬戸内しなみ街道の横断に挑戦できればと思っています。

⑤ 桃李もの言わざれども下自ら蹊を成す

① 保育所支援担当主幹 **重谷 勝子**
しげたに しょうこ

② 保育所支援

③ 食べる

④ ただいま『終活』取組中！断捨離の基本は「ときめく」か「ときめかない」かの選択。我ながら順調と思っている矢先、手をつけてしまったパンドラの箱？？高校生のときにもらった『ラブレター』発見。過去は、『ときめいたもの』。新終活情報では、残された人に必要か否かの判断基準。あればとして、どんと焼きまでにラブレターの行き先を決めなくちゃ！

⑤ 無芸大食

【係長】

① 保育係長

② 保育係の総括

③ 歴史、スポーツ

④ 3人の子どもと過ごす時間を、大切にしています。最近では、次男の剣道

くりはら けんたろう
栗原 健太郎

の試合観戦が、何よりの楽しみです。

⑤ 諸行無常盛者必衰

① 事業調整担当係長

あんどく かずき
安徳 一紀

② 民間保育所の老朽改築、園庭芝生化、保育所の適正配置

③ 食事(大盛り)

④ 最近、小倉に「いきなりステーキ」が開店したことで、肉マイレージを貯め始めました。

⑤ やってみなはれ(サントリー)創業者の言葉

① 事業調整担当係長

もりかわ よしこ
森川 芳子

② 公立保育所運営(施設維持管理等)

③ ウォーキング、料理本を見ること

④ 夫は私の話を聞いてくれませんが、娘が小学5年生になり、そこそこの話を聞いて相づちや助言をしてくれるようになったことがとても嬉しいです。

⑤ 誠心誠意

① 保育医療支援担当係長 **向野 立代**
むかいの りつよ

② 保育医療支援

③ 読書

④ 日本シリーズの観戦に行き、ホークスがサヨナラ勝ちで日本一に。最後まで諦めないことは本当に大事な

と感じました。

⑤ こころ まあるく

① 保育所支援担当係長

はら きよみ
原 貴代美

② 障害児保育・保幼小連携 保育力ウンセラー・家庭的保育

③ プロ野球観戦(ホークス大好き！)

④ 甲羅の大きさが500円玉ほどの小亀を飼っています。私の顔を覚えていて(親バカ?)私が水槽を覗くと必死で泳いで寄ってきます。可愛いです。

⑤ 「北風と太陽」(アンデルセン童話)人に対して太陽のようでありたいと思います。

① 指導係長

おだ ひろし
小田 洋

② 指導係の総括

③ サッカー

④ 小2になる息子のバスケットボールの応援によく行っています。シュートしてもバスケットゴールに2回に1回しか届きませんが、一生懸命がんばっているのを応援します。

⑤ 最悪を想定し、最善を尽くす

① 保育士・保育所支援センター
コーディネーター

やまが やすこ
山家 泰子

② 保育士等の保育所就職支援など

③ コンサート、映画鑑賞

④ 3人の孫は保育園児です。保育園で心身共に成長していて、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。センターでの仕事を通して少しでもご恩返しができればと思っています。

⑤ 誠心誠意

① 栄養指導担当係長 **日浅 実千代**
ひあさ みちよ

② 保育所給食に関する業務

③ 歴史(特に古代)に関すること、温泉

④ 小さなベランダに鉢植えで植物をほんの少しですが育てています。水遣りをするだけの世話ですが癒されています。これから寒くなりますが、冬に咲く琵琶の花や早春に咲く花達に感動しつつ、元気をもらって風邪知らずに過ごしたいです。

⑤ ポジティブに！何とか成る！

① 保育指導担当係長 **岸 清美**
きし きよみ

② 第三者評価事業、保育士確保(保育士等資格活用研修、保育士就職支援)、認可外保育施設

③ 旅行、おいしいもの探し

④ 炭水化物大好き。パンにご飯にスライツに、おいしいものがあると聞けばそれを求めて出かけています。おいしいものを食べて、お腹も心も満たしてリフレッシュしています。

⑤ 明日は明日の風が吹く

【主査・主任・職員】

① 保育係主査

東祐輔 ひがし ゆうすけ

② 直営保育所運営業務

③ キャンプ、温泉、ラーメン

④ 元気もりもりの子どもに振り回されながら子育て奮闘中。趣味はキャンプ！家族全員巻き込んで、春夏秋冬、海へ、山へ、川へと出撃します。自然がくれる季節毎の醍醐味を感じながら、アウトドアでの遊びを満喫しています。寒い季節になったら、温泉キャンプ（キャンプ場内に温泉併設）がお薦めですよ。

⑤ 失敗は成功の基

① 保育係主任

中村綾子 なかむら あやこ

② 予算・決算、事業評価、指定管理保育所

③ 人に道をよくたずねられ（と思う）ます。先日は80代のご婦人からスパー銭湯へはどう行ったらよいかをたずねられました。いつでも、どんなときでも、確実・丁寧にご案内できるよう、日々精進しています。

④ 20年ほど前、小倉祇園の屋台から連れて帰った飼った亀のアドルフ（ミシシッピアカミミガメ）が、この夏初めて産卵し女の子であることが判明しました。

⑤ 情けは人のためならず

① 保育係

國吉加奈恵 くによし かなえ

② 庶務、表彰、病児保育事業

③ 旅行、カメラ

④ フィルムカメラにはまっています。デジタルのほうが簡単ですが、お正月にフィルムでレトロな家族写真を撮るのが目標です！

⑤ 吾唯知足、吾唯知足

① 保育係

福田雄大 ふくだ ゆうだい

② 保育所の入所・支給認定

③ 野球

④ 入職4年目、初めての異動で保育課に came しました。前の職場とは時間の経過速度が違い、あつという間に1日が終わります（やるべき仕事はなかなか終わりませんが）。その分休日にもすぐに過ぎて行き、新しいことをしよう！と妻と話し合っているのですが、なかなか長続きせず…。趣味欄に「野球」以外を載せることが目標です。

⑤ 上には上がいる、いつも謙虚に。

① 保育係主任

山本純子 やまもと じゅんこ

② 保育所の適正配置

③ 筑前若松五平太ばやし

④ 若松の五平太ばやしのチームで太鼓を叩いています。フェイスブックで

「北九州市役所職員五平太ばやし愛好会響」を是非ご覧ください！

⑤ 明日は明日の風が吹く

① 保育係主任

高崎夏樹 たかざき なつき

② 防犯対策強化整備事業・園庭芝生化事業

③ 旅行、演劇鑑賞、料理（特技にした！）

④ 11月に箱根旅行に行ってきました。山は斑模様で、紅葉のタイミングとしては微妙でしたが、久しぶりに自然を満喫しました！「黒たまご」「湯葉丼」、美味しかったです！

⑤ 為せば成る

① 保育係主任

太田有香 おおた ゆか

② 地域型保育事業（小規模保育事業・事業所内保育事業）の新設に関すること

③ 音楽鑑賞・ドライブ

④ 最近はスティックコーヒーを飲むのにはまっています。コーヒー以外にもミルクティーやほうじ茶ラテなど、いろいろな種類を集めて毎日どれにしようかと考えるのが楽しいです。

⑤ 七転八起

① 保育係主任

村田浩嗣 むらた ひろつぐ

② 給食調理業務委託、施設整備

③ 野球、テニス、スポーツ観戦、旅行

④ 長男（小2）、次男（年長）、長女（3歳）のパパです。長女が一番私似です（笑）。家族で良く週末や休みに出かけをします。この前は、思いつきでUSJまで車で行きました！子ども達は寝る準備をして午後10時に出発。朝起きると現地に着いているので、とても楽しかったようです。参考までに、行きは楽ですが、帰りはきついです。でも、帰り道に食べた広島風お好み焼きは絶品でした。

⑤ 明日はきつといい日になる

① 保育係主査

東裕美子 あずま ゆみこ

② 障害児保育・親子通園事業・家庭的保育事業

③ 野球・ヨガ

④ 息子2人と一緒に野球三昧の日々をすごしています。子どもたちの姿に感動し、共に喜び、共に悩みながら今を大切にしていきたいと思っています。

⑤ 笑つ門には福来る

① 指導係主任

高橋哲生 たかはし てっお

② 民間保育所指導（八幡東・八幡西）、特別保育事業（延長・一時・障害児・保育士加配・アレルギー加配・短時間勤務保育士・地域活動等）、施設型給付加算認定、家庭支援推進保育など

③妄想

④「主任とは仲良く喧嘩してます

⑤カルペ・ディエム

.....

①指導係主任

松尾 瞳

②民間保育所運営補助

③読書、フィギュアスケート観戦

④運転免許を持っていないと言ったと驚かれます。結婚して子どもができる頃までには...などと考えていました。が、親の介護のために必要になるのが先かもしれないと思う今日この頃です。

⑤楽は苦の種、苦は楽の種

.....

①指導係主任

津田 聡子

②民間保育所の指導（小倉北区・小倉南区）、保育士等処遇改善、予備保育士雇用費補助金、民間保育所施設整備費補助金、保連補助、保育士保育所支援センターなど

③買い物

④最近、K川係長から「津田さんは爆撃機」と言われたこと。

⑤まあなんとかなる

.....

①指導係

菊池 亜希

②育児休業中

③フットサル、テニス

④0歳女兒を出産し、新米ママとして奮闘中です。□ずさおは「ブンバボン」楽しく子育てしていますが、流行の待機児童に直面しています。今はとにかく保育所に入所できますように！と願うばかりです。

⑤十人十色

.....

①指導係主任

村上 智美

②保育所給食に関すること

③ヨガ、なわとび、ピアノ

④好きな食べ物はパンです。お気に入りには薬院六つ角にあるお店の食パンです。

⑤人生とは今日1日のことである

.....

①指導係 主査

柏木 幸子

②第三者評価事業

③特に、これと言っていないですが...時々、アコーディオンを楽しんでいます。

④「わらべうたあそび」の良さを沢山の人たちに知ってもらいたく、わらべうたおばさん」をいろんな所でやっています。遊んだ後の参加者の表情が大好きです。

⑤「人間、死ぬ時が身の自慢」です（母の口癖です）。

①保育係

上門 由美子

②認可外保育施設の指導

③《今凝っている事》フルート（雨戸を閉め切って練習します。音が相当うるさいらしい）

④《至福の時間》子どもも巣立ち、4匹の猫と夫との生活です。全部元ノラの猫さんです。縁あって一匹ずつ我が家にきました。その中でも一番大きい6kgもある雄猫フクは、大人になっても、癖でチュパチュパと音をたてて指（本猫の腕）しゃぶりをしながら寝ます。女の子の2匹は私の布団の中で、そして男の子の2匹は夫の布団の上で寝ます。猫が安らかな寝息をたてているのを見る時が、私の至福の時間です。

⑤念ずれば花開く

.....

①保育係

衛藤 京子

②認可外保育施設の指導

③テニス（へたの横好き）、童画を描くこと

④焚き火の前で「ぼーっとする」または芋が焼けるのを「ぼーっと待つ」。これが、今の私の至福のひと時です。要するに「ぼーっとする」ことにはまっています。

⑤「そのうちなんとか、あるだろう...」（植木等風に読んでください）

.....

①保育力ウンセラー

新里 侑那

②虐待対応に関する保育所（園）の支援

③音楽を聴くこと・散歩

④保育課には水曜と木曜に来ています。水曜は外勤のことが多く、木曜は本庁保育課にすることが多いです。このお仕事以外にも小中学校や短期大学、総合病院など、色々な現場で臨床心理士として働いています。このような経験を活かして、保育所（園）支援ができるよう努めます。よろしくお願いいたします。

⑤なし

.....

①保育アドバイザー

吉住 敦子

②気になる子どもに関する保育所（園）支援

③犬とあそぶこと

④保育力ウンセラーと共に保育所（園）への訪問支援を行っています。子どもも育つ姿にエネルギーをもらっています。最近、小学生とふれ合う場があり、その中で、『あまだれ（雨のしずく）』ということばを使ったら、「焼肉のたれ〜」「甘いたれよ〜。」と！それで、『あまだれポタタン』の歌を歌ってみたら、余計に「そんなのないよ〜。」と相手にされず。ガックリ！

⑤楽しい事も、辛い事もいつまでも続かない

第55回 北九州市保育研修大会

この研修大会は去る11月2日・3日の両日、アルモニーサンク・北九州ソレイユホールに約2千名の会員が参加して開催されました。以下、その概要をお知らせします。

第一日目 施設長特別研修会

行政説明

北九州市子ども家庭局
子ども家庭部保育課

課長 児森 圭介

北九州市の保育行政について、保育課の児森圭介課長から説明がありました。

まずはじめに、北九州市の少子化と待機児童の現状や、子ども・子育て支援新制度における取り組みとして、保育士・保育所支援センターの設置について、それ



から予備保育士雇用費補助、保育サービスクンシェルジュの活動状況や取り組みについて報告がありました。続いて厚生労働省の子育て安心

プランの「6つの支援パッケージ」について、ワーク・ライフ・バランス推進の観点から話しました。中でも、イクボスの養成について、イクボスとは何かについて、北九州市におけるイクボス10か条等の説明がありました。

講演

「熊本地震のその時、その後、そして現在」

～問われるリーダー力と対応力と～

熊本県保育協議会

専務理事 本藤 潔氏

地震時の困難な状況下で、保育所（園）がいかに対応したかについて、また時間を経て変化していく困難な状況についても併せてお話し頂きました。いざ、その時に「保育士に出来ることは何か」という事では、保育士自身が気持ちの立て直しを行う為に、自分の心を強くしていく

こと、子どもたちや職員の命を守るためにどんな備えが必要か常日頃から考えておくこと、支援とは独りよがりにならぬよう気をつけること等をお話し頂きました。

特に「連絡体制」が肝心であり、それは支援体制、情報収集体制のそれぞれが一本化される必要があると話されました。また平穏な日常こそ掛け替えのないものと気づかされたという語り、保育所の使命は「命を守る」と、とあらためて肝に銘じたと締めくくられました。



第二日目 全体会

基調報告

（一社）北九州市保育所連盟

会長 酒井 光義

（一社）北九州市保育所連盟 酒井光義会長より基調報告がありました。酒井会長はまず、松居和さんが講演で引用された小野省子さんの詩について話しました。「子は鎧（かすがい）、ではなく、子

育てが人類の鎧である」というお話です。そして、子ども・子育て支援新制度の目指すところは、子育て支援の質と量の充実であることをあらためて強調しました。また、新保育所保育指針では市町村が実施主体となるので、各自自治体における施策の方向性が大切になってくることでした。キャリアアップの構築では北九州市のように研修体制の整っている自治体はなく、特筆すべきものであると話しました。しかし新しい制度では県が実施主体ですので、北九州市における研修体制が認定されるよう、市にも尽力頂いていると述べました。社会福祉法人制度改革について、保育所は保育のための施設であり、その設立目的は営利でなく児童福祉であること、健全経営がなされていることを周知していくことが必要だと語りました。他団体から北九州市の保育とはどのようなものですか、との質問を

いただくこと

とがあると

述べ、「北

九州市の保

育の営みは

「視点は

い

つも子ども

たち」を原

点として保



きました。これが私たちの誇りであり、喜びでもあります」と答えられた、と続けました。最後に、これからも子どもたちのために日々保育に精進していきましよう、と締めくくりました。

活動報告

「与薬調査の分析結果」

つだこどもクリニック

院長 津田 恵次郎氏

つだこどもクリニック 津田恵次郎院長から、与薬調査の分析内容について報告がありました。「保育現場での与薬について、多くの問題が現場から指摘されてきた。北九州市では、平成12年に保育所（園）との保健連絡協議会を設立し、条件整備等を関係機関との協力のもと進めてきた。また平成17年度から実態調査を開始した。そして今、調査開始から10



年以上が経過し、その間、保育と保健を取り巻く環境は大きく変化しました」とこれまでの経過について説明がありました。北九州市内認

可保育所での与薬依頼について、ほとんどの施設で対応していると現状説明があり、与薬依頼にゆだねる保育所の理由として、「対象児童数の多さ・与薬判断の難しさ・保育所対応には不適切な薬剤」とあると続けられました。今後の課題としては「薬を預かる条件の再検討・周知徹底・不適切な薬剤の整理・地域差の縮小」があるとお話しになった。その上で、「今後の活動に大いに期待する」と締めくくられました。

「『排尿研究』の現状報告」

北九州市保育士会

副会長 黒田 玲子

北九州市保育士会 副会長の黒田玲子先生から「排尿研究」について現状報告がありました。「就学後におもらしをする児童がいる」との小学校からの相談をきっかけに、北九州市の全保育所（園）で、排尿についてのアンケート調査を行いました。そして、まつもとクリニック院長である松元透医師の監修の下、分析を重ね、考察を加え、四つの研究論文をまとめました。その一つ「くおむつにさよならする日々」では、約1万2千人の乳幼児が排尿を確立してゆく段階的な時期を数値化し、保育期間が長い児童ほど、排尿の自立が早かったことが明らかにな

りました。これは、保育士による支援の結果と考えられます。今回の調査研究結果をもとに、「保育所（園）」における適切な排尿トレーニングの開始時期や進め方、保護者への支援やアドバイスに生かしていきたい」と述べました。

記念講演

「保育所保育指針の改定について」

厚生労働省子ども家庭局保育課

保育専門調査官 馬場 耕一郎氏

子ども・子育て支援新制度から、今回の保育所保育指針改定の注目すべき点を話されました。最初に、「養護の項目や保育の計画などが総則に入っているが、まずは総則を踏まえて次の章を考えていく必要がある」と指針へのアプローチについて言及されました。また、保育所保育の特性や、保育士の専門性も明示されていることを伝えられました。中でも「養護」の理念、その狙いについてもその意味するところを語られました。そしてそれらを具現化するための保育計画とその評



価の形態なども説明いただきました。その他、育みたい資質や能力などの、施設として共有すべき事項なども丁寧にお話し頂きました。総則4について、園の実状に合った取り組みをすることにより、子どもが喜んで登園したいと思う施設を目指すなど、具体的な提示もしていただきました。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とは5歳児の就学直前の時期までに育ってほしい姿と解釈されているが、「それは子どもの育ちに対する評価ではなく、小学校との接続を目指していく上での、保育者が子どもに寄り添った上での目標として捉えてほしい」と、常に視点を子どもに置く必要性に気づかせていただきました。乳児保育に関する内容では受容的、応答的に行われる保育の重要性が加わったことをお話し頂きました。それはやはり、子どもたちの成長を、ともにその過程を歩む者としてしっかりと同じ視点で捉えて頂きたいとの願いから発せられていると教えていただきました。そこから「視点」という小見出しがつけられているのだ、と感じさせられました。平成30年度からの改定にあたり、保育に携わる者として自身の資質向上に努めていかななくてはならないと強く感じました。

研修・一期一会

第61回全国保育研究大会(神戸)

—安心して子育てができる
社会を目指して—

平成29年11月15日～17日の3日間、神戸市において第61回全国保育研究大会が開催されました。

初日は「神戸ポートピアホテル」においてベル演奏グループのティンカーベルによるミュージックベルとトーンチャイムの演奏で大会の幕開けとなりました。きれいな音色に心癒され、息の合った姿に釘づけとなりました。行政説明では、厚生労働省子ども家庭局保育課企画官より「安心して子育てができる社会を目指して」というテーマで子ども子育て支援新制度、保育に関する現状と取り組みについて等の説明がありました。基調報告では、全国保育協議会 万田康会長より、子ども子育て支援新制度の中間年ということで現在の状況や課題、改正社会福祉法への対応、保育の質の向上等についての内容が語られました。事業として表出してきた課題はあるが、私たち保育者は福祉の理念を軽視した実践にならないよう倫理観や人間観を意識して日々の実践に努めていくことが

重要であると再認識しました。

2日目は、11の分科会が開かれました。私が参加した第1分科会では、「新たな時代の保育実践—すべての子どもにむけて—」というテーマのもと、3園の意見発表がありました。乳幼児理解を深めること、保育園と保護者の関係性をより良く構築すること、環境や地域性を活かした保育など、どの発表も、豊かな人間性を育みたいという保育者の思いが込められた素晴らしいものでした。また、保育の振り返りを意味あるものにし、保育者一人ひとりの資質を向上させることで、園全体の質の向上につなげていくという、これからの課題を見出す機会にもなりました。講師の大妻女子大学 阿部和子教授の助言の中で、育ちの柱



で、育ちの柱をどこに置くのが重要であり、子どもの主体性を育てるためにはあそびを始める時点、すなわち、子どもがあそびを創

り出すことが必要であるということ

を学びました。

大会最終日は、ザ・ニュースペーパーによる「保育・泣き笑い」と題された記念公演でした。現代の政治や保育に関するニュースを笑いを交えて伝え、会場内は笑い声に包まれました。この公演の中で、「子どもの笑顔を見ることが私たち保育士の生きるということ」という言葉があり、心に残るものとなりました。その公演後、次期開催地である川崎市の挨拶が行われ、今年度の大会は幕を閉じました。

保育所保育指針改定版の周知の年であるときに保育について学びを深めることができ、貴重な3日間となりました。乳幼児期の育ちの重要性がより明確になった今、子どもに携わる全職員が子どもの育ちを再度考え、保育の内容や子どもの発達についてより理解を深められるよう、日々精進していきたいと感じました。全職員が学びへの意識を高め、資質・専門性を向上できるよう、また、一つひとつの学びを次につなげることができるよう、園内でも学びの場を設け、全職員でスキルアップをすることを目指したいと思います。

曾根保育園 大宅 麻未

およろこび

☆瑞寶雙光章

光保育園 園長 江田 正行

☆瑞寶單光章

竜光保育園 指導保育士 深川 祥子

☆厚生労働大臣表彰(社会福祉功労者)

ふたば保育園 園長 松田 トシ子

☆全国私立保育園連盟保育功労賞

清心保育園 園長 境目 操

井堀保育園 園長 中山 慶子

☆全国保育協議会会長表彰

西教寺保育園 園長 日野 真人

戸畑保育所わかば園 園長 白石 弘子

杉の子保育園 園長 光本 直美

☆西村法昭顕彰会表彰

若竹保育園 園長 岩橋 竹美

光保育園 園長 江田 正行

あおば乳児保育園 園長 稲田 涼子

支部近況

第13回

戸畑区篇

戸畑は重要な文化財・遺産に指定されたものがいくつもあり、伝統を重んじた町の中に「夜宮公園」があります。近隣には国の重要文化財「旧松本家住宅（西日本工業倶楽部）」は明治44年頃に建てられ昔のままの建物が現在に残っています。また、あまり知られてはいませんが「夜宮の大珪化木（4000年前の常緑樹の巨木の化石である天然記念物）」もあり、戸畑区のはぼ中央にある「夜宮公園」は四季折々の花が楽しめ、園内には、自然に富んだ地形を生かした遊歩道や、広場、休憩所が配置されています。公園側のなんじゃもんじゃ通りには、「ナンジャモンジャの木」と親しまれているヒトツバタゴが街路樹として植えられ、春には白い花を咲かせ、季節外れの雪が降ったようにも見えます。

春は桜、初夏は花菖蒲、つつじと一年中私たちの目を楽しませてくれます。

特に花菖蒲は有名で、毎年、夜宮池と日本庭園に7000株の花が咲きほこる6月上旬には「菖蒲まつり」が開催されます。11ヶ所の保育所（園）は毎年「菖蒲まつり」に合わせて、保育まつりを夜宮公園で行いステージでは、園児たちの元気な姿を披露し、手作りおもちゃのコーナーでは、訪れるたくさん子どもたちに楽しい時間を過ごしてもらっています。



夜宮公園は各保育園の交流の場所としても利用しています。

昨年はフープやボールを使用してゲーム遊びや、輪になってダンスをしました。今年はパラバルーン遊びを体験しました。

はじめは、他園のお友だちとの会話があまり弾まなかったけれど、時間が経つにつれて自然とうちとけて遊べ

るようになってきて、グループに分かれ自己紹介をしたり、握手をしたり、初めて会ったお友だちと気持ちい合わせ、大きなパラバルーンでドームを完成させた時の歓声は凄かったです。

上手く出来るグループからバルーンのワンポイントアドバイスをもらい再度挑戦するとできた時の喜びも倍となり、仲間意識も生まれ友だちをより身近に感じていたと思います。仲良くなった頃には解散の時間となり、「まだ遊びたい」と大合唱！

帰りの道々では仲良くなった友だちと葉っぱやどんぐりを拾いながらのんびりとしたひと時を過ごしながら帰る事ができました。これからも、地域の総合公園「夜宮公園」を充分に活用し、それぞれの子どもたち、職員の情報交換の場になるよう交流をさらに深めていきたいと思っています。





たくさんとべるよ。

(5歳児の作品)

雑感

「石油ストーブ」

12月に入って急に気温が下がり、冷たい風に体が縮こまる日々です。先日は門司港では雪が舞い、子ども達は「雪が降ってきた!」と喜んでいました。この季節になると決まってしまうのですが、自分の保育園時代の担任の先生との出来事です。私が育ったのは熊本

本の田舎の方で、当時年長組だった私は、1歳下の弟と近くの保育園に通っていました。実家の改装により敷地内の車庫での生活を余儀なくされ、寒い日々を送っていた頃、その日はいつも

送迎してくれる祖母が病院に行くと言うので、母親と保育園に朝一番に登園しました。車庫での寒い生活に疲弊し、また、朝一番の寒さに耐えられなかった私は、つい母親に「行かない」と駄々をこねてしまいました。そこに担任の先生が来られてふくれっ面をして

いる私を大きな石油ストーブの前へ連れて行ってくれました。ストーブの安全柵を握りながら燃える火を見つめていた私に、先生は何があったのか聞いてくれました。段々温まっていく手や体と共に、今まで我慢していたものが一気に溶けていく感じがして、先生に車庫での寒い生活のことや妹が産ま

れたこと等を話しました。先生は微笑みながらずっと私の話を聞いてくれました。私は嬉しくて嬉しくてたまらずしばらく話し続けたのでした。

私が保育士を選んだ理由の原点がここにあると最近になって思います。そして、この出来事を思い出す度に自分はこのように子ども達の心や保護者の方の心を溶かすことができているだろうかと反省するのです。

保育所保育指針が改定されます。白梅学園大学学長 汐見稔幸先生の解説書を読んでいくと、改定のポイントの中に「養護には、『生命の保持及び情緒の安定』のための配慮や働き掛けという定義がありますが、もっと分かりやすくいえば、保育者が一人一人の子どもの心の基地になる、ということです。」との一節がありました。

幼い頃、私が担任の先生から温かく包んでもらったように、子ども達が「私は愛されている」「私は見守られている」と思えるような温かい雰囲気の中で生活できるようにしていきたいと思っています。

みなと保育所

蓑田 美紀